

《本校の学力向上の取組》

学びをつなげる

「思考力・表現力を身に付けた児童の育成」
ー算数科における言語活動の充実を中心にしてー



太田市立城西小学校

学びをつなげる取組

学力向上

(2) 授業力の向上



**子どもの
<学ぶ意欲>**

**(3) 家庭との
連携**



(1) 学びの環境



学年や指導者が替わっても子どもたちが戸惑うことなく、その子の学びが6年間しっかり積み上げられていくよう“学びをつなげる”取組を強化し、学力向上を図っています。本校では

- (1) 学びの環境
- (2) 授業力の向上
- (3) 家庭と連携

の3つの柱で取り組むことで、子どもの学ぶ意欲が一層高まり、学力の向上につながると考えています。

(1) 学びの環境

—安心感と落ち着きある環境—

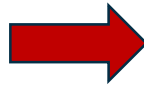
- ① 学習の基盤づくり 『学習のきまり』
- ② 基礎学力を身に付けさせる
 - ・ 『朝読書』 と 『基礎練習』 の時間
 - ・ 放課後や長期休業中における補充指導
- ③ 活用力を育てる . . . 既習事項の振り返り
- ④ 言語活動の充実 . . . 説明をつなげていく
- ⑤ 全員参加の授業
- ⑥ 支持的風土のある学級作り

(1) 学びの環境

— 安心感と落ち着きある環境 —

① 学習の基盤づくり 『学習のきまり』

城西小学校 学習のきまり			1 学期	2 学期	3 学期
	児童の行動	指導上の留意点			
始業前	1 道具を引き出しにしまったり、宿題や提出物を決まった場所に出したりする。 2 静かに本を読む。	1 宿題や提出物は、登校後すぐに言われなくても出せるようにする。 2 学年に応じた本を選び、静かな環境の中で落ち着いて読めるようにする。			
授業前	3 授業開始までにノートに下敷きを入れて、日付を書いて静かに待つ。	3 チャイムと同時に始められるようにする。			
授業中	4 授業のあいさつをする。 5 腰骨をたてて、正しい姿勢で学習する。 6 指名されたら、「はいっ！」と返事する。 7 はっきりした、ていねいな言葉づかいで話す。 8 話をしている人を見て最後まで聞く。 9 机の上を整理し、書きやすい位置にノートを置く。 10 ノートには、ポイントやメモも書く。 11 授業の終わりのあいさつをする。	4 全員が張りのある声で挨拶をすることができるように指導する。 5 繰り返し指導し、徹底する。 6 不十分な場合は、その場で指導する。 7 全員に聞こえる声で分かりやすく話させる。 8 相手の目を見て聞くようにさせる。 9 ノートや本は、まっすぐに置かせる。余分なものはしまわせる。 10 工夫している子のノートを紹介し、賞賛する。 11 チャイムで授業が終わるようにする。			
授業後	12 次の時間の準備をしてから休み時間にする。 13 持ち物をきちんと整とし、散乱させない。	12 次の授業がすぐに始められるように具体的に指示をしてから休み時間にする。 13 しまう場所やしまい方をきちんと指導し、徹底する。			
基礎練	14 集中して学習に取り組む	14 落ち着いた環境の中で10分間集中して取り組めるような課題を工夫して与える。			
家庭	15 宿題をきちんとやり、提出期限を守る。 16 学習に必要な物を確かめ、忘れ物をしない。	15 宿題の処理をためない。意欲も持たせられるような処理の仕方を工夫する。 16 必要に応じて保護者の協力を得る。			



	付す。				
授業中	4 授業のあいさつをする。 5 腰骨をたてて、正しい姿勢で学習する。 6 指名されたら、「はいっ！」と返事する。 7 はっきりした、ていねいな言葉づかいで話す。 8 話をしている人を見て最後まで聞く。 9 机の上を整理し、書きやすい位置にノートを置く。 10 ノートには、ポイントやメモも書く。 11 授業の終わりのあいさつをする。	4 全員が張りのある声で挨拶をすることができるように指導する。 5 繰り返し指導し、徹底する。 6 不十分な場合は、その場で指導する。 7 全員に聞こえる声で分かりやすく話させる。 8 相手の目を見て聞くようにさせる。 9 ノートや本は、まっすぐに置かせる。余分なものはしまわせる。 10 工夫している子のノートを紹介し、賞賛する。 11 チャイムで授業が終わるようにする。			
	12 次の時間の準備をしてから休	12 次の授業がすぐに始められるよ			

すべての子どもが集中して学習に取り組み、かつ限られた時間内で学びの質を高めるためには、学習のルールが必要と考え「城西小学校学習のきまり」を作成しています。全職員で共通理解し、指導しています。そして、学期末には、全職員で子どもたちが学習のきまりが身に付いているか振り返りを行い、次の学期の指導に生かしています。

(1) 学びの環境

—安心感と落ち着きある環境—

②基礎学力を身に付けさせる

- ・『朝読書』と『基礎練習』の時間
- ・放課後や長期休業中における補充指導



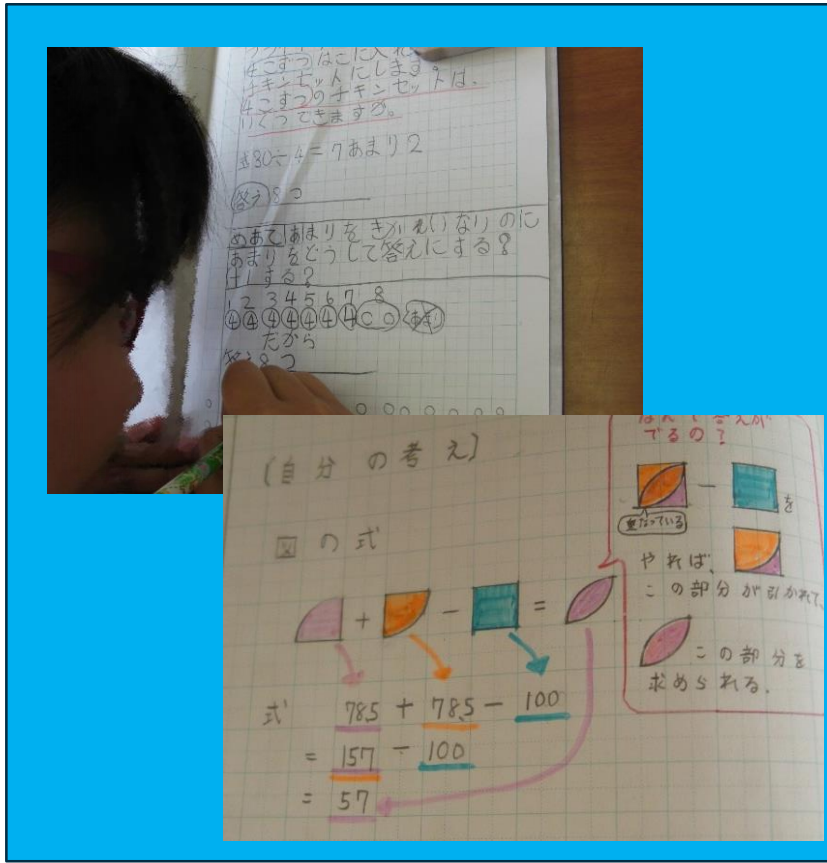
個別指導が必要な子どもは、家庭との連絡を密にしながら、放課後や家庭訪問期間中、夏季休業等の長期休業を利用して補充指導を行っています。

週3回朝行事の20分間を朝読書、毎日5校時前の10分間を基礎練習の時間と校時表に位置づけています。子どもたちが静かな環境の中で集中して取り組めるよう全校体制で取り組んでいます。

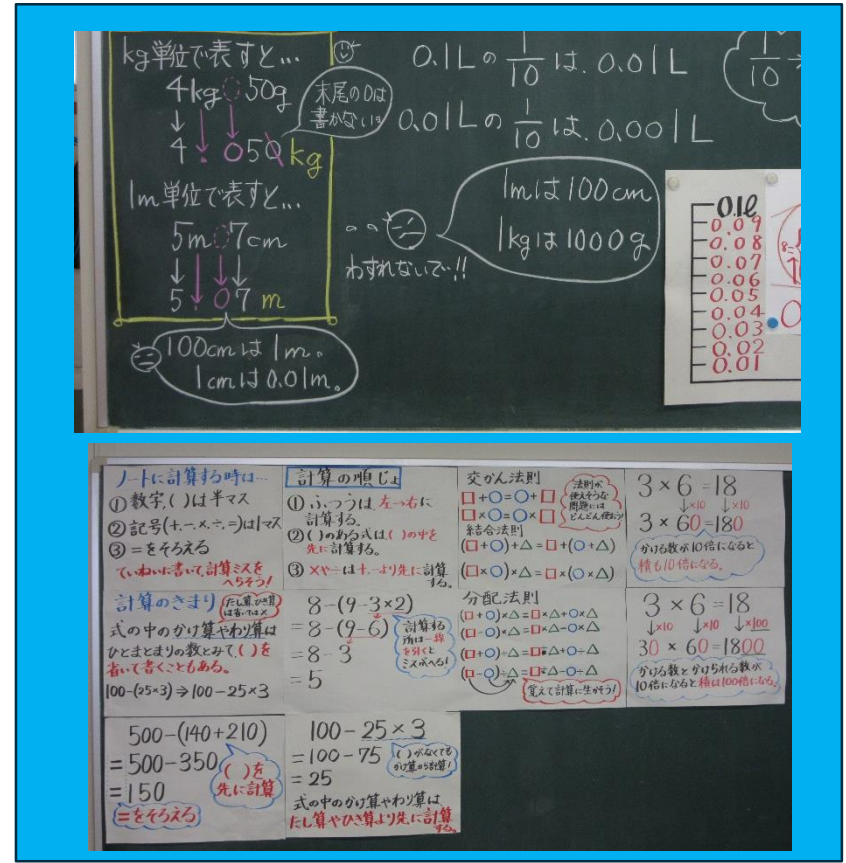
(1) 学びの環境

—安心感と落ち着きある環境—

③ 活用力を育てる・・・既習事項の振り返り



活用する力を育てるために授業の中では、まず、既習事項を振り返り、未習の課題を自ら解決できるようにしています。



横黒板には、いつでも既習事項を振り返れるように大切なことや学習の足跡を残しています。

(1) 学びの環境

—安心感と落ち着きある環境—

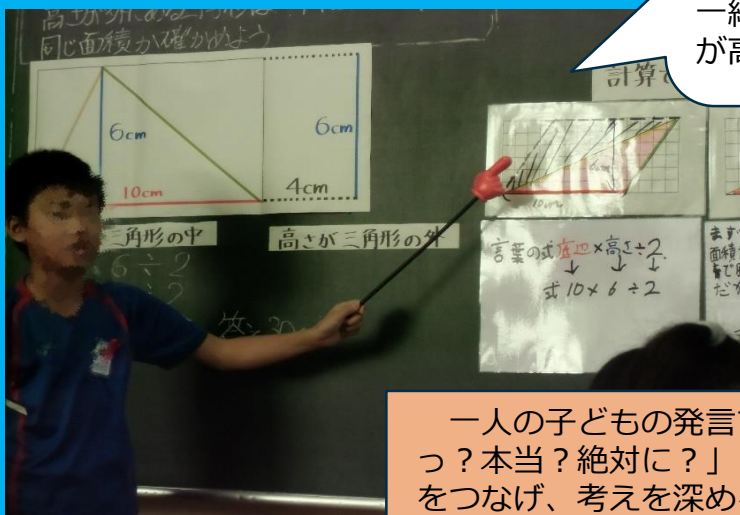
④ 言語活動の充実・・・説明をつなげていく



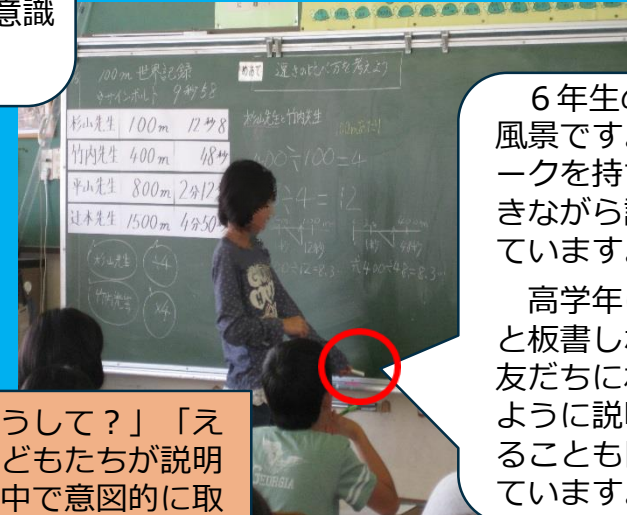
1年生の授業風景です。子どもたちが前に出てブロックを操作しながら、説明しています。



2年生の授業風景です。友だちが書いた式を他の児童が説明している場面です。吹き出しは子どもの言葉を板書したものです。



5年生の授業風景です。友だちが書いた図や式をつないで、他の子どもが説明している場面です。この活動により一緒に考えているという意識が高まります。



6年生の授業風景です。チョークを持ち、書きながら説明しています。

高学年になると板書しながら友だちにわかるように説明することも目指しています。

一人の子どもの発言で終わりではなく、「どうして?」「えっ? 本当? 絶対に?」と教師が問い返し、子どもたちが説明をつなげ、考えを深める場面を日々の授業の中で意図的に取り入れるよう努めています。

(1) 学びの環境

—安心感と落ち着きある環境—

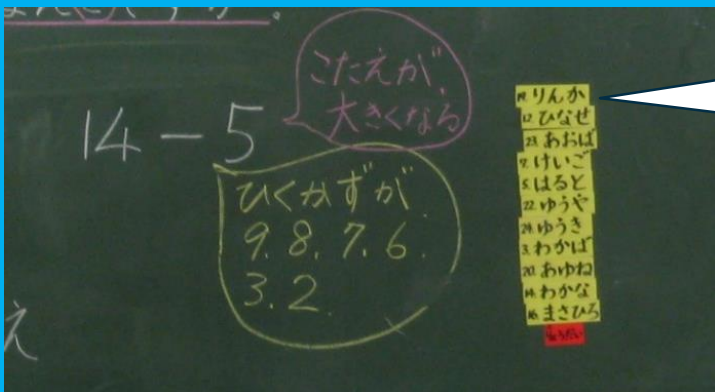
⑤ 全員参加の授業



ペアでの話し合いの場面を設定し、相手意識を持ち対話を大切しながら主体的に取り組めるようにしています。



授業の中で、意思表示する場面を設定し、参加意欲を高めるようにしています。



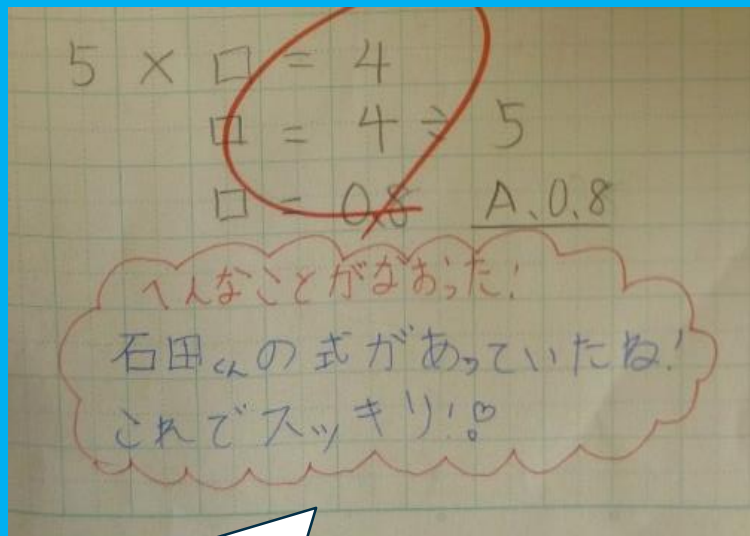
発言した児童のネームプレートを貼り、発言・発表意欲を高めています。

「対話による言語活動」や「説明をつなげていく言語活動」を大切にしながら、一人一人の声や考えを大切にしながら全員参加の授業づくりを全職員で目指しています。

(1) 学びの環境

—安心感と落ち着きある環境—

⑥ 支持的風土のある学級作り



授業ノートや自主学習ノートに、友だちの考えの良かったところや役に立ったことを記述するようにしています。



自分の考えを伝え、友だちの考えを聞き、互いの考えを尊重し合うなかでよりよい解決方法を探るようにしています。

学級や授業の中で何でも言い合える支持的風土作りを進めておくことが安心感と落ち着きのある環境をつくり、学力向上につながると考えています。「支持的風土のある学級経営」を基盤とし、考え合い、気づき、発見する、知的好奇心を高める授業作りを行う中で、自然に「他者受容感」が生まれる人間関係づくりを構築していけるよう努めています。

(2)授業力の向上

—学び合う研修—

- ①前年度までの研修の振り返り
- ②全体研究主題と個人テーマ 『構想→中間報告→まとめ』
- ③授業を参観し合う 『一人一授業』（年2回）
『初任研・示範授業』
『模擬授業』
- ④夏休み『三二講座』
- ⑤板書の工夫
- ⑥ノート指導・・・児童のノートを見合う機会（学期に1回）

(2)授業力の向上

—学び合う研修—

③授業を参観し合う 『一人一授業』 (年2回)

『初任研・師範授業』

『模擬授業』



各教師が「一人一授業」を年2回行います。初任研の「師範授業」を他の教師にも公開することで、授業を参観する機会を増やしています。また、先進校の授業映像を見合ったり、研究授業の前には、事前に模擬授業を行ったりしています。授業づくりや各教科等の指導のあり方を学び合っています。

(2)授業力の向上

—学び合う研修—

④夏休み『ミニ講座』



夏休み『ミニ講座』の様子です。水彩画の技法について学び合いました。また、その他にも先進校の視察に行った先生の報告や言語障害、聴覚障害教育に携わっている先生からの話、外国語活動の今後の動向についての話などを聞いて学び合いました。

(2)授業力の向上

— 学び合う研修 —

⑤板書の工夫



子どもの発言は吹き出しにしてあります。子どもの発言は黄色、その中で大事なものと思われるものを赤と色分けしてあります。まとめにつながるおさえるべき語句はあらかじめ教師側で用意をして貼り付けます。



この授業はそれぞれの位に目をつけて考える内容だったので、位によって色分けをしています。



どの学年も板書の形式は、左に学習問題を書き、そこからめあてを子どもたちと一緒に見つけ、集団解決、最後に子どもの言葉を生かしたまとめをします。授業の最後には、1時間の流れがわかるようにしています。

(2)授業力の向上

－学び合う研修－

⑥ノート指導 児童のノートを見合う（学期に1回）



校内研修で各クラスの自学ノートや算数ノートを見合いながら、子どもたちへの指導に生かしています。

(3)家庭との連携

—学習環境づくりは家庭と学校で—

- ①家庭学習の習慣化・・・『家庭学習のすすめ』
『家庭学習の手引き－各学年－』
- ②宿題・・・・・・・・・・漢字練習、音読練習、算数学習
(全校で統一)
- ③自学ノート・・・・・・・・授業の振り返り、感想、
自作問題等

※教室内、学級通信によい自学ノートの紹介

(3)家庭との連携

—学習環境づくりは家庭と学校で—

①家庭学習の習慣化

『家庭学習のすすめ』『家庭学習の手引き 各学年』

家庭学習の手引き

家庭学習のすすめ～城西小学校～

☆まず続けることが大切です。学年の目安の時間を目標に、机に向かう習慣をつけましょう。

こんなもの

家庭学習の継続によって、「基礎学力」を誰かなものにすることができ、「自ら学ぶ習慣」をつけることができます。

1. 学習時間

「10分+10分×学習」を目標に、家庭学習が行えるようになって欲しいと思います。机に向かう習慣をつけることが大切です。家庭学習に1年生から取り組み、学年が上がるにつれて徐々に時間を増やしていきます。(宿題をする時間も、以下の時間に含めます。)

☆ 1年生 (20分以内)	☆ 4年生 (50分以内)
☆ 2年生 (30分以内)	☆ 5年生 (60分以内)
☆ 3年生 (40分以内)	☆ 6年生 (70分以内)

※ 中学1年生では、2時間以上必要だとされています。

家庭学習は時間の多少にかかわらず、毎日続けることに意義があります。お子さんの「やる気」を主体的な取り組みを促すことで、励ましているだけだければと思います。上記の時間は、あくまで目安ですので、お子さんにあった時間を話し合ってください。

2. 学習の開始・終了時刻の決定

毎日同じ時間帯に学習することで、生活のリズムを身につけるようになります。曜日ごとに決まっているおやみごい事がありましたら、その時間帯を考慮し親子で学習計画を立ててみてくださいいかがでしょうか。

3. 学習内容

まずは最初に学校の宿題をしましょう。次に、「自習」に取り組みましょう。基礎学力の定着のために、各学年で例を示しています。それを参考に学習内容を考え、学習の計画を立てるようにしましょう。

- ☆ 毎日取り組むよい学習。
「音読」「漢字練習」「計算」など続けることにより高い効果を生む内容です。宿題として出されています。
- ☆ 時間のあるときにやるよい学習。
「読書」「問題集・ドリル」「予習や復習」など自分の好きに合わせて取り組むよい内容です。

☆学習環境づくりは家庭と学校で☆

*** 生活時間の見直しと環境の整え方 ***

一日の生活リズムについて、家庭で話し合います。

- ①「学校から帰宅する時刻」または、「スポーツ少年団や習い事から帰宅する時刻」から「就寝時刻」までの、家庭における生活時間帯がどれくらいあるか曜日ごとに洗い出します。
- ② 毎日の生活時間の中に食事や入浴などの時間を設定します。
- ③ どうしても見たいテレビ番組については親子で話し合い、生活時間帯の計画に入れます。
- ④ 残りの時間帯の中から、学習時間帯を決めます。(※読書の時間も入れるとよいですね)
- ⑤ 余った時間は子どもの好きなことに、自由に使える時間として保証しましょう。

学校での取り組み

学校では家庭学習について、各学年で統一した考えの基で指導を行います。家庭学習の様子や授業等で情報を交換しながら家庭と連携を確め、柔軟に対応していくようにします。

☆見届けのポイント☆

- ・よくできているところや努力したところをほめます。
- ・子どもの取り組みの良いところを紹介します。

※計算の自習をした場合は、解答のあるものはマルつけをしてから提出してください。

家庭での取り組みませ方

1. 学習への意欲を持たせるためには

- ① 学習を始める時間になったらテレビのスイッチを切ります。
- ② まず宿題に取り組み、次にすぐに取りかかれるやさしい学習(本読みなど)から始めます。
※低学年では、親がそばにすることが大切です。夕食のしたくの時などに近づくテーブルなどでやらせるのも一つの方法です。やったという事実をほめるようにしてください。
- ③ 途中でつまづいたり、分からない問題は後回しにし、翌日担任に見てもらおうようにしてください。(※で「分からないので教えてください。」と書いてはどうでしょうか。)

2. 学習に集中させるには

- ① 食べながら、飲みながらは避け、しゃべらないで学習する約束をしましょう。
- ② あらかじめ「終わりの時刻」を知らせ、守らせるようにしましょう。

家庭学習の手引き(4年生用)

1 学習時間のめやす(どれくらい時間をとするか)

☆ 4年生 ----- 50分程度
※一日のうちで、決められた時間には向かう意欲をつけましょう。

2 学習の始めと終わりの時刻

☆「家庭学習のすすめ～城西小学校～」をよく読み、自主的に計画を立てて学習しましょう。
※休みの日は午前中にすませましょう。
☆ 曜日ごとに、学習の始めと終わりの時刻を決めましょう。

学習のはじめ 学習の終わり

時	分	～	時	分
---	---	---	---	---

(2) 文章力アップ

- ①スピーチ練習
- ②自己紹介
- ③演劇紹介
- ④今日のありがた

(3) 基礎学力アップ

- ①国語の教科書で
- ②辞書・辞書の活用
- ③国語辞典を使う
- ④辞書の活用
- ⑤辞書の活用

☆自主学習メニュー(自主学習ノートを書きましょう)
※1cm方眼のノートや定規を準備し記入する。
※大人数のグループで話し、社会や歴史、自然などの内容を話し合ってみましょう。

☆まず宿題に取り組みます。

☆宿題が終わったら、自主学習ノートを形作り、次のような学習をやります。

(4) 興味・関心

- ①調べ学習をする
- ②今勉強している
- ③読書のおもしろ
- ④インターネット

読書は...

(1) 授業日記メニュー

- ①今日の授業のまとめ
- ②今日の授業で分かったこと、分らなかったこと
- ③今日の授業の感想、言いたかったこと

※ 中学年になったら親は、始めから取りかかるといっている必要はありませんが、途中経過を見たりしてどんなことをやっているかを把握しておく必要はあります。文字が乱暴になってしまったり、答えや文字がまちがってたりしても、お許しください。自主学習に取組むなかで、めはずれなことでも、本人の自主性を大切にしながら、ちょっとしたアドバイスをお願いします。

※ インターネット調べ学習をする時など、まだ自分が調べ出すことは、難しいので進言などをしてあげてください。

例：4年生

(3) 家庭との連携

— 学習環境づくりは家庭と学校で —

②宿題 漢字練習、音読練習、算数学習（全校で統一）

③自学ノート 授業の振り返り、感想、自作問題等

自作問題

コピー機でコピーします。全部コピーするのに、Aの機械では12分、Bの機械では8分かかります。2台でコピーすると、Aの機械1台より何分速く終わりますか。

$A \dots 1分で \frac{1}{12}$ $B \dots 1分で \frac{1}{8}$
 $\frac{1}{12} + \frac{1}{8} = \frac{4}{48} + \frac{6}{48} = \frac{10}{48} = \frac{5}{24}$
 $1 \div \frac{5}{24} = 1 \times \frac{24}{5} = \frac{24}{5} = 4\frac{4}{5}$
 4分と少し → 5分にする
 $12 - 5 = 7$

発展学習

発展学習

時間(分) 0 2 3 4 5 6 7
 深さ(cm) 8 12 16 20 24 28

まとめ
 xがn倍になると、性質
 yも2倍、倍...になる。

授業感想

授業日記
 今回の授業は、 $\frac{0}{0}$ 倍とレウ
 のが少し難しかったけど、
 比例には、性質と定義とい
 うのが2つある。72つがま
 さらなようにしようと思
 いました。

授業をもとに自作問題を作って理解を深めたり、自学ノートの最後に授業感想を書いたりするよう奨励しています。

授業ノート

正多角形について

正三角形 正方形 正五角形 正六角形 正七角形 正八角形 正九角形

	線対称	対称の軸	点対称
正三角形	○	3	×
正方形	○	4	○
正五角形	○	5	×
正六角形	○	6	○
正七角形	○	7	×
正八角形	○	8	○
正九角形	○	9	×
正十角形	○		
正二十角形	○		
...	...		

発展学習

自学ノート

正多角形では、奇数のときは点対称ではなく、偶数のときは点対称になる。
 また、角の数と対称の軸の数は...

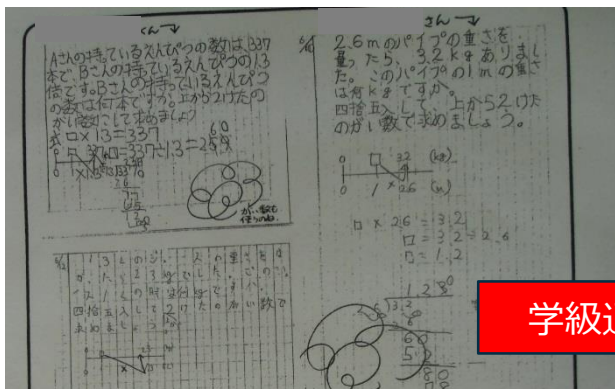
まとめ
 角の数が奇数のときは点対称ではなく、偶数のときは点対称になる。
 また、角の数と対称の軸の数は...

自学ノートに、その日の授業で学習したことをまとめ直したり、授業感想を書いたりすることで、その日の学習内容の定着を図っています。特に算数では、数学的な考え方や知識・理解に関する内容を授業で扱ったときには、授業ノートをもう一度写しながら復習したり、問題の数値を変えてまとめ直したりするなどの自学に取り組むことができるように声かけや指導を行っています。

(3)家庭との連携

—学習環境づくりは家庭と学校で—

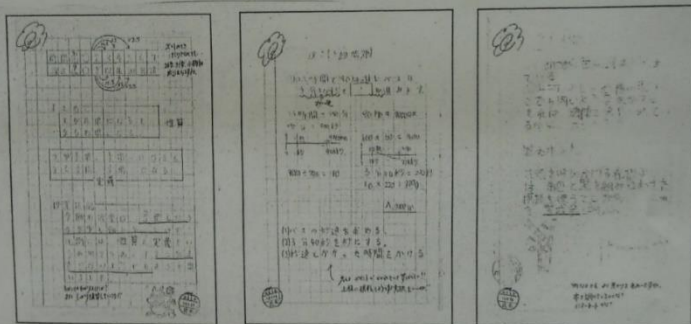
自学ノートを紹介



学級通信

自主学習に取り組んでいます

公開日には、子どもたちの日々の学習記録表をご覧いただきました。中学進学に向けて、宿題以外の学習への取り組みを、今後強化していきたいと思えます。これまで、毎日コツコツ取り組んできているよいノートを紹介いたします。



さん)

さん)

さん)

授業で学習したことをもう一度まとめて、感想や気づいたこと、わかったことなどをまとめています。また、アイテムや通信教材等の発展問題に挑戦しています。自分で興味のあることを本やインターネットで調べて、紹介しています。毎日、挑戦し、自身を成長させていってほしいです。今後も紹介していきます。



教室掲示

自学ノートを、教室の中に掲示し、子どもたちに紹介している学級もあります。

学級通信に、自学のノートの取り組みを紹介しています。積極的に家庭で紹介することで、自主学習の進め方について親子で参考にすることができます。また、紹介された子どもは、自信と自己肯定感が高まり、更に充実した取り組みにつながることを期待できます。

学力向上コーディネーター、研修主任として

○リーダーシップ

子どもたちの学力向上、教師の授業力向上に向け、先生方に様々な情報提供をしたり、先生方と授業について共に考えたりしていきます。

○担任と共に教材研究の質を高め、緊張感ある授業

クラスの担任とは、放課後や休み時間に、明日の授業のねらいや流れ、指導の仕方等を話し合うようにしています。授業ではT1、T2を交換しながらお互いに授業を見合い、授業後は振り返りを行っています。

○積極的な授業参観

先生方の授業をできるだけ参観し、よりよい授業づくりにつながることを伝えるようにしています。

○指導上の課題を共に考え合う相談役

先生方と共に、一緒に指導方法を考えていくことで同じ歩調で指導できるようにしていきたいと考えています。これからも学力向上コーディネーターと校内研修主任が相談し合ったり、校長先生や教頭先生からご指導をいただいたりしながら、全職員が同じ方向で実践していけるよう努めていきたいと思えます。